

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第3学年

【単元名】 「身の回りからざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう」

(「気になる記号」 光村図書 全14時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
(2)イ 比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方を理解し使うこと。	B 書くこと (1)ア 調べて集めた材料を比較したり分類したりして, 伝えたいことを明確にすること。 (1)オ 書こうとしたことが明確になっているかなど, 文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章のよいところを見付けること。

【主な学習活動と留意点】

領域「書くこと」のつながり: 「楽しかったよ, 二年生」(第2学年)できごとや気持ちを伝える文章を書いた。  
 ・経験したことから書くことを決め, 題材に必要な事柄を集めた。  
 ・「はじめ」「中」「おわり」の組み立て考えて, 文章を書いた。

働かせる見方・考え方: 集めた材料の性質(色や形, 文字や絵など)に着目し, 目的を意識して伝えたいことが明確になるよう, 比べたり分けたりして整理すること。

段階	学習活動(時間)	留意点
第一次	1 「楽しかったよ, 二年生」で学習した文章の組み立てを確かめる(1) 2 学習テーマを設定し, 学習計画を立てる(1)	<p><b>既習の文章の書き方を想起, 本単元で活用を</b></p> <p>☞2学年教科書「楽しかったよ, 二年生」を読み返し, 文章の組み立てや句読点の書き表し方を確認する。</p>
第二次	学習テーマ: 身のまわりの気になる記号を集めて, ほうこくする文章を書き, 読み合おう	
	3 材料を集め, 取材カードに記録する(2) 4 集めた記号の中から二つ選び, 観点を立てて分析する(2)	<p><b>取材や学校図書館の活用, 家庭学習との連携を</b> <span style="float:right">単元の重点</span></p> <p>☞材料を集めるために身の回りの様子を想起する場を設ける。また, 実際に取材に出かけたり, 図書館の利用や家庭学習との連携も考えたりする。</p>
	5 報告する文章の組み立てを確かめる(1) 6 文章の組み立てを考えて構成表を作る(2) 7 構成表をもとに下書きをし, 読み合って修正する(2) 8 清書する(1)	<p><b>観点を決め, 書く材料を整理, 内容の検討を</b> <span style="float:right">単元の重点</span></p> <p>☞選んだ記号が何を伝え, そのためにどんな工夫がされているか, 色や形, 文字や絵などの観点から, マッピングなどの思考ツールを利用する場を設ける。</p>
	9 読み合って, 感想を伝える(1) 10 単元の学習を振り返る(1)	<p><b>観点を決め, 内容や表現のよさを伝える共有を</b> <span style="float:right">単元の重点</span></p> <p>☞例えば, 友だちの調べた内容について, 初めて知ったことを伝えるよう促す。 ☞例えば, 友だちの説明の仕方について, 特徴や理由の書き方, よく使う書き表し方の使い方のよさを伝えるよう促す。</p>

次単元へのつながり: 『ありがとう』をつたえよう(気持ちが伝わる手紙を書く)

・手紙の型にそって, 目的や必要に応じて, 気持ちが伝わるように書き方を工夫した手紙を書く。